



実践クラブ
馬渡 光春
議員

▼空き家対策について

Q 島原市の空き家の状況はどうか
A 平成二十四年度に市内の空き家の実態調査を実施し、五年程度人が住んでいない空き家が三百四十六件、倒壊の恐れがある空き家が五十六件の合計四百二件を把握している。

Q これまでの対応と、空家等対策の推進に関する特例措置法施行後の対応と課題は何か。
A 苦情、相談にも即座に対応し、危険家屋一棟の除却に際してもらった。空き家に対する特別措置法が施行されたことで、所有者等の把握が以前より容易になると思われるため、データベースの整備や空家等対策計画の策定を進める必要があると考えている。また、空き家等の活用についても検討を行う。

Q 空き家の増加対策として空き家条例を制定する考えはないか。
A 空き家等に関する基本指針やガイドラインも国から示されており、現状では、法律に基づき対応したいと考えている。

Q 空き家の活用を図るため、空き家バンク等を設置する考えはないか。
A 空き家バンクは、空き家等の適正な管理やUターン等に情報提供するためにも大変必要なものである。今後、宅建協会や不動産業界の方々の協力を得ながら取り組みを進めたいと思っている。

▼投票率向上対策について

Q 市内に二十八カ所の投票所があるが、投票率を上げるための改善策として、バリアフリー化や駐車場の整備も必要ではないか。投票率は年々下がっているが、投票率を上げるためにどのような取り組みを行ったのか。
A チラシの配布やポスター掲示、防災無線による放送などの啓発活動や土足で投票所に入れるような改善を行った。また、投票所の区切りの見直し等にも努めたい。

Q 選挙権年齢が十八歳に引き下げられ、来年の参議院議員選挙から投票できる見通しだが、二十歳台の投票率が低迷している中どのような取り組みを考えているのか。
A 小・中・高校に機材を貸し出し、生徒会の役員選挙に活用していただいている。また、模擬投票や出前講座を行って、少しでも選挙が身近なものになってほしいと思っている。



日本共産党
島田 一徳
議員

▼公共交通の充実について

Q 島鉄バスの有明地区における水分畜産線は、有明地区内で乗車するバス停により、水分神社前を先に回る便と畜産試験場前を先に回る便で運賃に差がある。料金を一律化できないか。
A 距離に応じた運賃設定となっているため差があるが、利用者のほとんどが高齢者のため、移動に係る経費を少しでも軽減できるように島原鉄道と一緒に検討していきたい。

Q バスの運行継続のために、大型バスではなくワンボックスカーでの運行や福祉タクシー、フリー乗車区間の設定などに取り組んではどうか。
A 高齢者の移動手段の確保は大切であるため、今後の公共交通のあり方の中で協議していきたい。

▼雨水、家庭雑排水対策について

Q 道路の側溝整備の要望件数は十八件で、今年度の対応予定が十一件ということだが、側溝整備は、地元業者の仕事づくりという点でもメリットがある

るため、思い切った予算措置はできないのか。
A 財政が厳しい中、一般的な道路維持補修費等もかさんでいる状況のため、思い切った予算措置は大変難しいと判断している。

Q 公共下水道の計画は現在どのようなになっているのか。
A 二十三年二月に処理区域八百九十八ヘクタール、概算事業費二百三十三億円の計画を提示したが、縮小したほうがよいという意見もあったため、現在縮小する内容で見直しを行っている。

▼働く者の賃金水準について

Q 労働者派遣法の改正案が可決されたが、本市に影響はあるのか。
A 本市の派遣社員の人数は把握していないが、大企業が多い都市部に派遣事業者が多いため、本市への直接の影響はあまりないと推測している。

▼安保法制(案)について

Q 安保法制については、国民にしっかりと説明責任を果たし、国民に考える時間を与えるべきだと思いがどうか。
A 国会の中で十分な議論を尽くしていただき、国民に対して責任ある説明責任が果たされることを期待している。